

を施す。將來の農村はどうしても日本の國情としては電化の必要が多いから一面又電化農場とする。倉庫は農業倉庫法により保管金融販賣を掌り、生産物の處置は最も大切だから、此點には充分に力を注ぐ。

經營主任の選任 經營の實際に就ては經營主任者を置き、大體の經營方針即作物の種類、反別、等は勿論組合長以下の幹部の會議と總會の意向によるべきであるが、此經營主任者は一人で實際の經營能力ある適任者を選ぶことが、共同經營の一番大切のことであるから、大方針が定まつたならば、之以外の事は此經營主任者に一任する。共同經營の弱點は大勢だから協議に骨折れて又船頭多く船山に上るの點にある。だから經營主任者は一人で總て臨機の處置の執れる様にせねばならぬ。共同經營の多くの失敗は日本は勿論ヨーロッパでも經營主任者に其人を得ないためである。此經營主任者は經營の頭もあると共に技術上の能力も持たねならぬ。

勞力の分配賃銀の決定 共同經營で組合員に對し問題になるのは、勞力の分配と賃銀の決定である。勞力の分配は家族の數、即ち組合員の所有勞力を大體標準とし、組合員は自分の經營もあるから彼此酌量して、經營主任が案配する。此點は實際上伊太利等でも仲々困難の點で、組合員の勞

力が餘る時と又不足する時とあるから、餘る時には公平に分配し、不足の時には他から補充の方法を講ぜねばならぬ。此所が經營主任の手腕を要する點である。

賃銀の決定は勿論普通當時の相場賃銀であるが、此を全部支拂ふか否かの問題で、組合の結束は要するに金の問題が第一だから、彼此考へて見ると賃銀の一割位は組合に保留して積立金とし、其年の經營の總計算をした後に、收支相償ふことが解つた時に提供した勞力に應じて分配する。即ち萬一の際に備へる。此は要するに組合自身のためだから、組員合自身にも不服はない。

此勞力問題であるが組合は此外にどうしても相當家族の常用農夫が必要で、矢張り組合勞力の基本となつて始終組合に居り、農業經營の萬事に通じて、傭入れ勞力の際にも、世話焼きの出来る常農夫が必要である。

工業的農業 がモットーであるから、稲作ならば乾燥は火力乾燥とし、精米繩なひ、疊の心の製造等藁の利用をする。水瓜、南瓜、茄子、大根、トマト等の栽培は大面積の經營が利益だから、勿論大規模にやり市場の販賣は勿論、此野菜の加工方面を研究し、切干し、漬物、罐詰、等の加工場を作つて販賣する。家畜農業も肥料の點もあり、乳牛、豚雞等は畜舎をたて、飼育し、

牛乳、牛豚肉の販賣並に加工も營み、組合員の勞力利用には全力を注がねばならぬ。此家畜の飼養は組合事業として、最も適當で生産物の處分上、是非共組合組織を利用したい。牛乳や生肉の販賣などは農家が此共同經營で奮發したら、市場で勝利を得るのは容易である。我國に家畜農業を發達させる最良の方法として此共同經營の組合事業が最も有望である。組合事業とすれば加工販賣は固より、飼料の購入、良種の繁殖、農耕の利用にも個人飼養より經濟的に出来る。

共同經營の利益分配 組合の土地の地代は組合員の提供したると、或は他から借入れたとを問はず、世間並の利用料を拂ふ。役員や經營主任常用農夫の俸給は勿論、勞働賃銀、肥料代、借入金の子、農舎農具等の償却費其他一切の經費を支拂つて剩餘が出来れば茲に處分問題が起る。

剩餘金の處分として第一になすべきことは組合の積立金で、此は勿論前述の償却積立金の外である。伊太利の實例によると、利益の二〇パーセント乃至三〇パーセントを積立金、儉約貯金、及持分配當に分配して、尙ほ殘餘があれば、組合にした仕事に應じて經營主任其他の勞働者に分配する。此は伊太利の多年の經驗であるから、我國としても組合事業の基礎を固むるため、殊に當初は此位の準備金が必要である。唯自分は最後の持分の配當と仕事に對する配當とを同比率にしたい

と思ふ。その理由は此等の組合は持分單位のみのものでなく、勞力も其主要素だから、殊に組合員の平和を保ち共存共榮の趣旨から、あらゆる組合員は平等でふ組合設立の大精神から、かくしたいのである。ブルジョアとかプロレタリアートとか云ふ階級觀念を捨てたいのが、此組合經營の大目的である。

同時に損失補填の問題がある。此は組合事業の最も困難な點で、殊に創業の際には組合員の訓練も結束も弱いから、理事者の頭痛の種子である。此方法としては前記の積立金の流用と前述した平素の勞銀の五—一〇パーセントを留め置いて損失に備へ、最後の手段としては長期に渡つて組合員に對し公平に割り當てる。

組合の改革 オトガニシヨウ 英國の農政學者サー・アッシュレーが云つた如く、丁抹と英國の農業の利益に天地の差が出来た主要の原因は實に組織の相違にあると、即ち英國の農村には此組織主として産業組合が發達してゐないために、農業經營上得らるべき利益も得られないで非常なる損失を蒙り、丁抹は巧妙なる組織網に依つて農業の利益を農民自身が極度に搾取することが出来る。

此組織網の完成は英國同様、我國農業經營の焦眉の急務であることは前述した。將來の農村に

は必要に應じて各種の産業組合、實行組合及農會を設ける。

産業組合の組織は各種組合に通じて左の如き改革が必要である。

- 一、理事者は小數とし従來の如き單に顔役でなく組合の爲めに専心働く人たること
- 二、理事者中少くとも専任者は有給たること、即ち勞力に相當する報酬を出すこと
- 三、信用組合の預金利子につき地方銀行と競争しないこと
- 四、同上餘裕金の預入先は信用聯合會を主とし、地方銀行に預入する時は、確實なる數行を選び、決して一行に集中しないこと
- 五、一年に少くとも一回監督官廳の監査を乞ひ、其際は監事が必ず立會検査をなすこと
- 六、貸附に就ては理事者に對して特に其最高額を限つて、監事の同意を要し、出來得る限り主義としては融通を遠慮すること

一般組合員に對しても最高額を總會にて定め嚴守すること。

放資は公債及政府の保證する特殊銀行の債券に限定し、株券は應募購入せざることを。此場合組合の放資と理事者の放資とを嚴重に區別すること。

先づ農村では農民自身の力による金融機關を確立することが必要で、此がぐらつく様なことがあると中心が揺ぐも同様直に農民の生活を脅かす。信用組合を信用する立派のものにすることは農村經濟機關確立上第一の大切なことである。然し茲に信用組合の設置が肝要だからと云つて、他の金機關、特に銀行などを排斥せよと云ふのではない。如何に信用組合が發達したからと云つて銀行が不要と云ふ結論にはならない。一國の金融は勿論、農村でも兩者の並立が結局兩者のためで、信用組合文では自然刺激も少く勉強を怠り、物の發達を阻害する。

生産物の處分 次に生産物の處分は最も肝要で、今後の農村は此生産物の加工販賣に就て全力を注ぐべきで、収入の増加は主として此方面の開拓にあるし、又此方面に就ては従來我國の農民は殆んど盲目で、疎く中間商人に、様にかきまわされて居つた。今後の農業は所謂工業的農業で農民が團結して商人も工業家も兼ねるにある。産業組合の力により、一村の生産物を加工販賣し、引いては一郡一縣の聯合會の活動によつて大規模に加工販賣する。

養蠶をやる農村では前述した産業組合製絲を建設すれば養蠶全體に亘る利益が得られる。其他各種の産業組合があるから、本業副業の各方面に亘つて必要に應じて組織する。

要するに現在の様な個人主義獨りよがり主義を全廢して共同經營共同組織を根本とし、生産物は出来る丈之を加工し、農業をして工業的ならしめ、農業の利益を全部農民が吸収する。

尙ほ農會等も強制的のものは町村役場があれば之で充分。自由のものにして必要のある所は之を設立して現在よりも大規模にしてもよい。唯必要如何が問題で、他の地方や町村でもやるから、形式的に必要な有無に拘はらず、設けるなどは將來の農村の理想に反する。如斯傳統的形式的の機關は却つて有害で、物の進歩發展を阻止し、まるきり御役所風のものになつて、自然停滯し硬化する。彈力味がなくなつて、唯法律できめられたから、組織すると云ふ風な生命のないものが出来る。物事は目的があつて機關が出来るので、機關が出来て目的を探すのではない。農會は必ずしも悪いと云はない。方法によつては大に必要のものであるが、やはり如斯勸業的の機關は自由にして希望と熱のある所にやらせるに限る。

農村には却つて五十戸乃至百戸程度の部落に實行組合が必要で、任意組織とし町村全體の連絡は聯合會を設けるなり、町村農會なりが其任に當ればよい。

新しい品評會 最後に品評會や共進會であるが、從來の様な月並のものばかりではいけない。

前述した様に農業の目的は金を得るので、品質の優良なものや、數量を澤山得ることは單にその手段にすぎないのだから、此目的と手段とは明確に區別する必要がある。従つて品評會も經濟的品評會たる必要がある。

例へば雞や乳牛の品評會にすれば、從來の形狀其他の審査よりも、先づ雞ならば雄一羽に雌三羽位を一點として出品させ、一年を通じて雞卵の數と目方と及び飼料の多寡を検査して、最も少い飼料で、最も卵の品質がよく、數多の卵を生んだ雞を一等賞とする。牛ならば何も一ヶ所に出品させないで、出品者の家を検査官が出張審査して一年を通じ最も品質の善い最少量の乳量を得られ、飼料の最も少い牛を一等とすると云ふ具合に經濟的能率の品評會とする。雞のとさかや羽毛の色や牛の尻の形やなどばかり騒ぎ廻る品評會はもう時代遅れの品評會である。穀作や野菜其他の品評會についても此趣旨により經濟的の見地から改良する。

四、文化的施設

教育機關に就ては前述した。其他の修養機關に就ては簡易圖書館とか巡迴文庫が適當である。然し此等圖書の選擇は、學校の先生とか村長組合長とかの頭からばかりでなく、今少し各方面の

希望を入れるために、部落民の投票に依つて定めたらよいと思ふ。文字の書ける人間は誰でも投票権があるとして、一人一票にし出来る丈其範圍を民衆的にする。何だか道學者の頭や文部省あたりの遠慮氣兼ねした賣藥式の書物の選擇は、決して現代の人間は歓迎しない。此投票の結果極端のものは兎に角、最高點のものから購入する。刊行書物の目録などは圖書館や集合所に出版者から集めて備へ付けて置くのも妙。餘り書物の選擇などを個人の獨斷ドクタンで定める必要はない。早い話が一般の家庭などで兩親達の購入する書物や新聞記事でも、そんなやかましい道德的のものはかりぢやなく、講談本と婦人物が一番愛讀されると云ふぢやないか。讀書などをそんな窺屈に制限する必要はない。修養が三分娛樂が七分なら上等である。講談や落語でも馬鹿に出来ない。仲々人間生活の實際に修得する所がある。要するに、今少し廣い範圍で興味娛樂の方も考へてほしい。

娛樂機關 は人間生活の自然として今後益々民衆的集合的になると思ふ。即ち人間は集まること自身が既に一つの本能であり娛樂であるから、娛樂機關もその方面を工夫する、ラヂオ、蓄音器、盆踊り、各種の運動スポーツ、講演會、演藝、活動寫眞等出来る丈豊富にする。活動寫眞は最も民衆的だから町村で一器公費で備へる。ラヂオや電話なども部落單位に集會所があらうから、公費で

備へる。盆踊り其他の踊りは體育上からは固より、民衆娛樂として格好のものであるから、さう八釜ましく云はない。ヨーロッパやアメリカのダンス熱を見ると日本の取締りなどは可笑しい位で畢竟警察官の物好きにすぎない。

スポーツの普及 各種の運動の設備が大切で、娛樂の上よりは勿論日本人の體格改良の上から又早熟早老を防ぐ上からも、此スポーツを農村としても大に奨励すべきである。或は農民は勞働が充分だから、運動競技の様な腹減らしはいらないと云ふ人々も農村には仲々あるが、勞働と運動とは別物で、運動は興味中心のもので身體の運動と共に休養になり、勞働をしては身體の休養にはならない。又心身の發達から見て運動は最も必要。特に日本及日本人の將來を考へると學問ばかりに吸々としてゐるよりも、運動が肝要である。日本の農村にも今少し晴れやかな陽氣な、民衆的のスポーツが普及する様になつたら、農業の能率も上るに違ひない。

神社寺院境内の利用 野球場は小學校の運動場を利用する。庭球は日本人には最も適した運動で日本の農村の様に耕地の少い所には手頃である。神社、寺院等の境内は今後は是非石段や敷石や塔籠などをあまり並らばないで——殊更にせまこましく、運動などの出來ぬ様に出來て居る

——子供や青年は勿論大人の遊びうる様に手をかける。少し其考へでやれば立派な小公園になつて農村の娯樂乃至運動場になる。同時に神主や坊さんもラケットやグローブ位持つて神社や寺の境内で運動して農民の相手になつてほしい。笏しやくや珠じゆず数だけで人間を濟度しないでラケットやグローブでも人間を濟度して貰ひたい。その位開け來て、時代の空氣がわかる様になれば、神職や僧侶の生活難も解決して來る。尙ほ神社や寺の建物も從來の様に閉鎖的でなく、開放して部落の集會所や娯樂場に利用する。本堂などは廣いから、佛壇丈は町寧に幕でも垂れて、其外は民衆の利用に任せ、採光換氣にも注意して些少の設備を加へる。神社も同様である。神様を尊敬するのと神社を開放するのは決して背反することではなく、建物の保存上から云つても狐狸や鼠に番させて置くのもよろしくない。

町村民運動會 運動競技なども一年に春秋一回位町村全體位の競技をし、又部落では二回位、或は部落相互の競技をするとか他町村なら郡全體の競技をする。面白い効果があり農村を愉快にするに違ひない。町村や部落の運動會には老幼男女總て集まつて、競技の種類も色々作り老人向壯年向、青年向、少年向、幼年向と體に應じて工夫する。よく歐洲航路や大平洋航路の船中で船

客のスポーツがあるが、子供も老人も夫れ相當面白い競技がある。如斯して老いも若きも一所に集まつて、青空の下で樂むのはどの位農村及農民を樂しくするか知れない。由來日本の娯樂は室内本位で従つて小數本位、民衆的の娯樂は誠に少い。活動寫眞は勿論のこと、素人義太夫素人芝居も大に面白い。鎮守の祭などに老も若きも一生懸命で餘興に奔走するのは農村の願はしい樂の一である。

要するに前述した様に、日本人の人生觀が間違つて居るために、人生の樂と云ふものが少く、餘りに道徳的に乾燥無味であるから、此點は大に改善して、人生の樂を豊富にして所謂よく遊ぶよく働く主義に生活方法を變へて行く。

之に就て自轉車の普及は日本の農村としては最も善いことで、交通上は勿論自轉車の遠足など仲々面白い。今後益々普及して丁抹の様に——丁抹は世界一自轉車の多い國で自分の訪ねた極く小さい農家で兩親と十七才の青年との三人が各一臺宛の自轉車を持つて居た——各自自轉車を持つ位にしたい。従つて現在の様に自轉車に税金を課するなどは履物はきものに課税すると同様で、通行税廢止の實現した今日眞先に全廢すべきものである。

五、交通機關

三九〇

善道は善政で、政治の第一は道路を善くすることだから、農村でも將來の道路はコンクリートにする。ヨーロッパでは農村でも道路は大體コンクリートだから日本も單に土をかためて砂利を敷く様な姑息のことはやめて一度に金をかけてコンクリートにする。大變の費用だらうと云ふが元來金は融通すべきもの、日本の様に懷や筆筒に各自藏ひこんでゐるから、一万圓の金が一萬圓で死藏されるのだが此を利用すれば十萬圓にも百萬圓にもなり、日本人程現金を懷に入れて居るものは少く、ヨーロッパでも日本人を捕つかまへれば金が取れると云ふ位。ヨーロッパ人は大體小錢の外、小切手しか持つて居らぬ。死藏しないで融通すれば金は生きて使へる、コンクリート道路にした所でセメント材料の外大部分は勞力だから結局勞働者の手に渡り、勞働者の購買力が殖えて商家が榮へる。税金として入つて來る。云はゞグル／＼廻はるにすぎない。コンクリートにした所で左程案ずる程のことはない。道路は是非共コンクリートにする、十年ならずして其の方が經濟的であることが解かる。

六、衛生機關

將來の政治は道路や衛生的設備等民衆の生活に直接必要の事に力を注ぐべきことは前述したが衛生上の機關として、將來の農村は産業組合を利用して病院を設置し、農民の保健疾病の改善にとめる。傳染病院など不完全のものを人里離れた所に建たるなどは、入院したゞけである世に行つた氣持がする。宜しく此組合病院に傳染病室を設けて平素は普通病人にも利用すれば經濟的にも利益がある、又農家で病人のある際など不完全な室で療養するよりも、此病院に入れた方が經濟的でよい。入院料藥價料總て實費主義、醫師は町村相當の人を迎へればよい。現に各地で組合經營にやつて相當の成績を擧げて居る。人間として此醫療機關が生活相當の經費でやつてゆける様にするのは最も必要で、社會政策の上から見ても農村に是非此の種の病院が必要である。而して是非共傳染病はヨーロッパの文明國の如く絶滅させる。以上將來の農村に就て論じた。此で決して盡して居ると云ふ譯ではないが、本書全篇を熟讀されたなら、將來の農村改革の如何なるものであるべきかに就ては讀者の頭に様々の暗示を與へると思ふ。(完)

農村振興の實際家として地方官中第一人者の評ある著者が心身を傾倒したる五箇年
餘苦心の作!! 前者は歐米農家學校農村がフキルムの如く展開し後者は我國組合製
絲界の權威者たり、熱心なる後援者たる著者が組合製絲經營の秘訣を懇切に説きた
るもの

忽八版

歐米農村巡り

四六版 三百頁
寫眞 三十葉
定價 一圓三十錢

忽十四版

養蠶家の 組 合 製 絲

四六版 四十三頁
定價 三十五錢

東京帝大教授那須皓氏序 横尾君は農村問題の熱心なる研究家で本書は才筆縦横興
味津津たる好讀み物である云々

山崎延吉氏批評文 此著は近來の名著で農村振興の實際家として有名な横尾君の著
であるから普通の視察者の群を抜いて足まめ氣まめに急所を捉へ要領を掴むで居る
事は驚嘆の外はない。此れ特に僕が農民技術員は勿論農會産業組合農學校小學校等
に必ず一本を備へんことを勧むる所以である云々

發行所 東京市銀座西 農村研究會 振替東京 七丁目五ノ十 番六七七七四

昭和五年三月廿八日印
昭和五年四月三日發行

正價金壹圓八拾錢
郵稅金拾八錢

不許複製



著作權所有者

著者

東京市小石川區春日町五十番地
橫尾惣三郎

發行者

東京府杉並町成宗五十七番地
農村研究會代表者 依田源七

印刷者

東京市神田區表猿樂町二番地
中村修二

印刷所

東京市神田區表猿樂町二番地
株式會社開明堂東京支店

東京市京橋區銀座西七丁目五番地十號

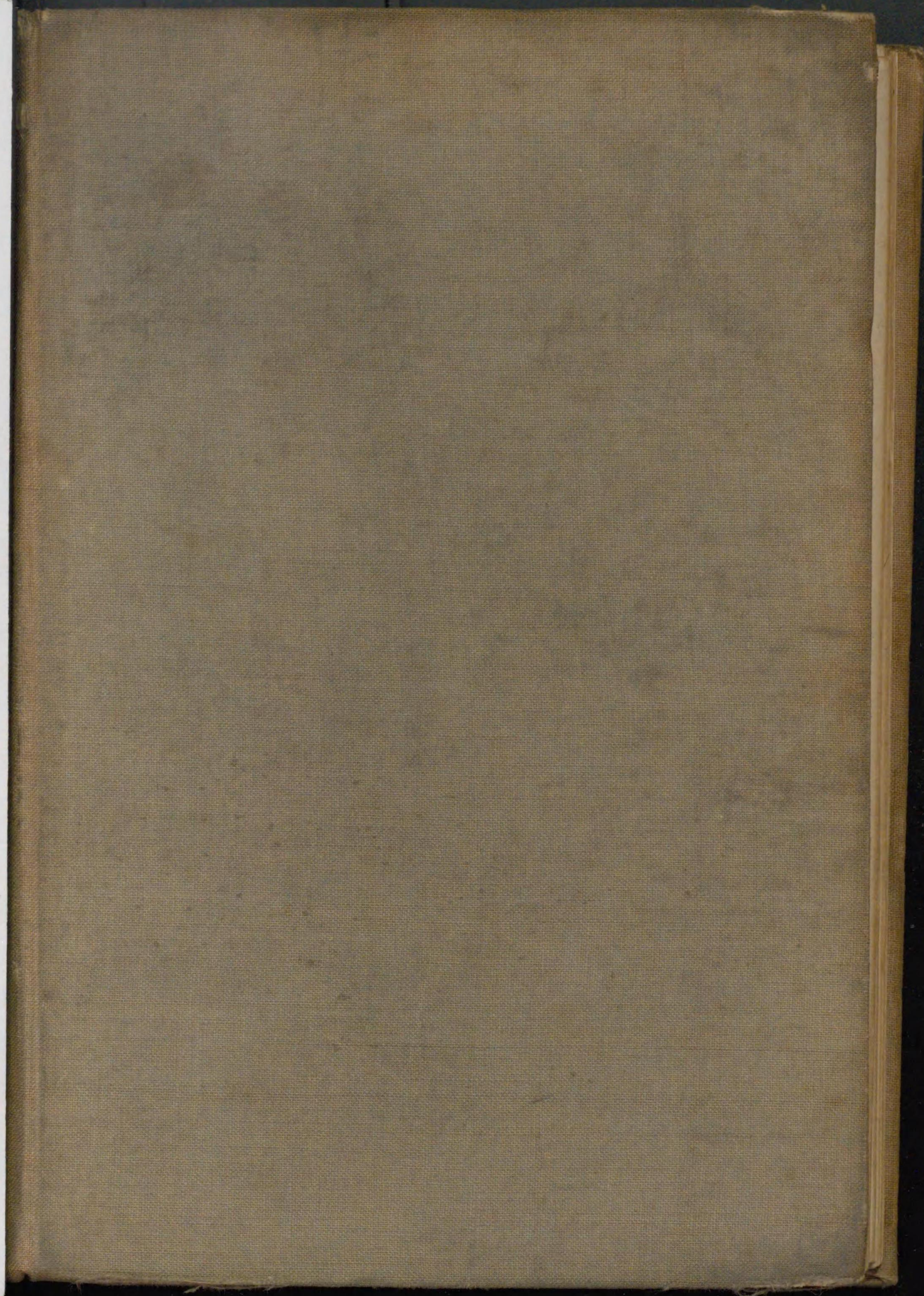
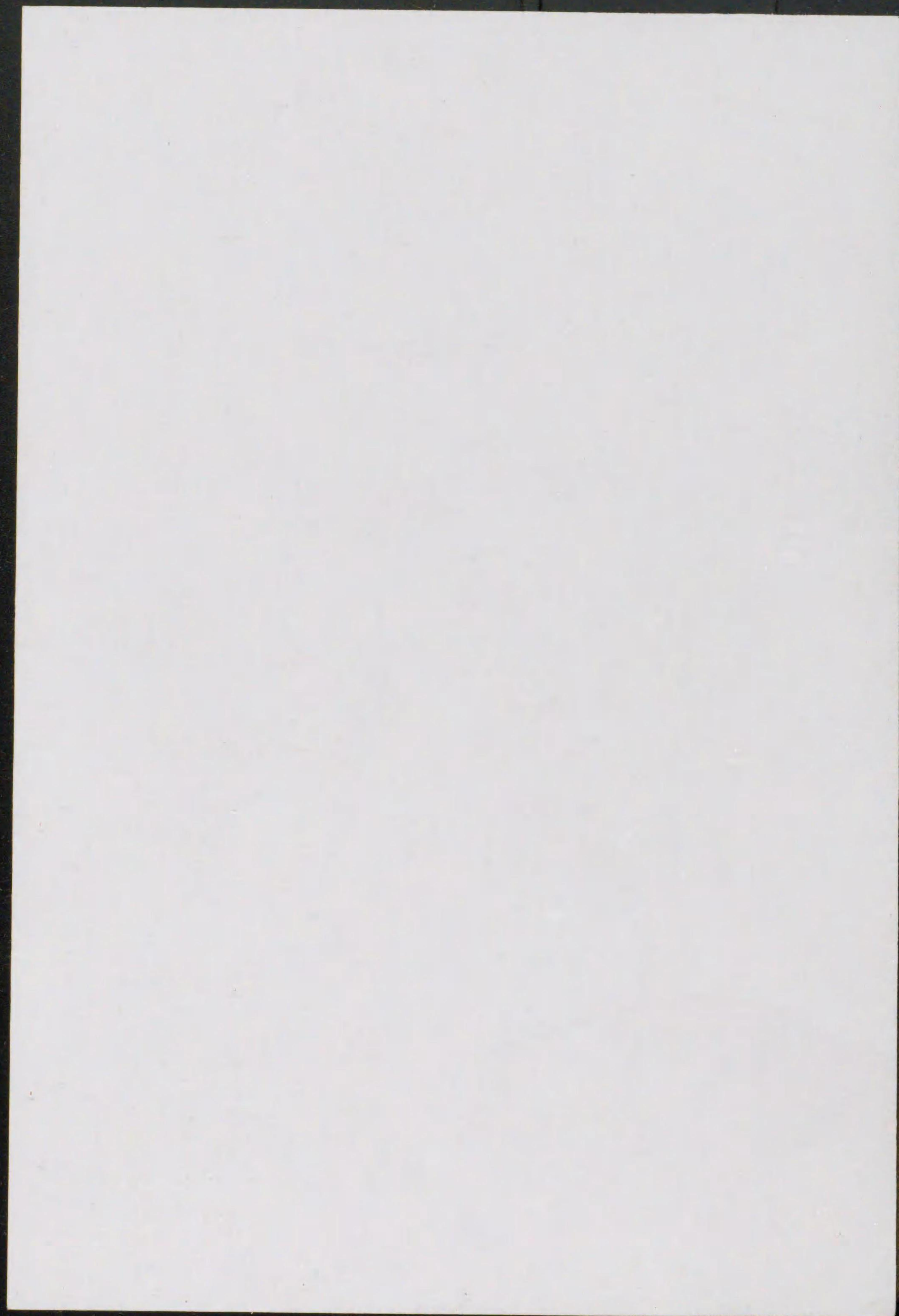
新愛知新聞社東京支社內

發行所

農村研究會

電話銀座 四五〇〇・四五〇一・四五〇二
振替口座東京 四七七七六番

607
31

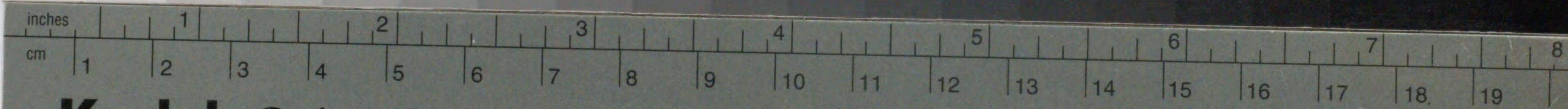


Kodak Gray Scale



© Kodak, 2007 TM: Kodak

A 1 2 3 4 5 6 **M** 8 9 10 11 12 13 14 15 **B** 17 18 19



Kodak Color Control Patches

© Kodak, 2007 TM: Kodak

Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black

